



第2章 基本構想

木津川市生涯学習推進計画 きずなプラン



第2章 基本構想

1 基本理念

人をはぐくみ ところを結び まちを創る

木津川市では、すべての市民が生き生きと充実した人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指しています。

そのためには、市民一人ひとりが自らの意思で生涯にわたり“学ぶこと”が重要です。学ぶことにより、自己の教養や技能を高めることができます。

そして、それぞれが学んだことを地域に還元することや人々との交流を図ることにより、地域の連帯感が生まれ、そのことが地域力の向上や市全体の活性化につながるものだと考えます。

これを実現させるため、本市が目指す基本理念を「人をはぐくみ ところを結び まちを創る」とします。

2 基本目標

基本理念である「人をはぐくみ ところを結び まちを創る」を実現するため、その基本的な方向性を示す3つの基本目標を定めます。

(1) 人をはぐくむ

本市は、毎月多くの転入があり、人の動きが活発となっています。市民の中には、仕事や子育てで自由な時間が取れない方や地域のことをよく知らない方も数多くおられます。そのため、すべての市民に対し生涯学習に関する幅広い内容についての情報提供や、生涯学習について気軽に相談できる体制を充実させることにより、生涯学習に取り組めるためのきっかけづくりを積極的に行い、人をはぐくむための基盤づくりを推進します。

(2) ところを結ぶ

生涯学習を推進するためには、公民館・図書館などの社会教育施設だけではなく、様々な各関係機関とも積極的に連携し、ネットワーク化を図ることにより、市民の多様なニーズや社会の要請に応じた多様な学習プログラムの提供をはじめ、学習成果を生かせる環境づくりを推進し、人と人との絆づくり、人と地域との絆づくりを目指します。

(3) まちを創る

学んだことを自己の知識や技能の向上だけにとどまらず、ボランティア活動や地域課題の解決などにつなげていくことができれば、市民参画による地域づくりやまちづくりを更に進めていくことができます。そのために、学習成果の発表機会の創出などの仕組みづくりと市民の主体的な活動の支援の充実を図ります。



3 施策の体系



